

ふたつ星。



パリ6区ルミエール街 10番地
朝食付 350フラン

HOTEL

巴里ホテルの人々



原題「HOTEL DU PARADIS」/スタッフ/エグゼクティブ・プロデューサー：ドミニク・アントワーズ/プロデューサー：サイモン・ベリー/脚本・監督：ヤナ・ボコワ/撮影：ジェラルド・バチスタ/音楽：ロドルフォ・メデロス/美術：ガルベルト・フェラーリ/音響：ブルーノ・シャリエ/編集：ビル・シャプテル/キャスト/フェルナンド・レイ/ファブリス・ルシーニ/ベランジェール・ボンヴォワザン/ユージェ・ケステル/マリカ・リヴェラ/キャロラ・レニエ/1987年度イギリス・フランス合作/配給：巴里映画

巴里ホテルの人々

HOTEL DU PARADIS

解説

そのホテルはパリの、とある通りにひっそりと佇んでいた。とりたてて特長のない造りで、目を魅くものはないが、名まえが「天国のホテル」というのがなんとなくおかしかった。今日もまた夕暮になると、淡い灯りがついて、宿泊者のさんざめきが通りにまで洩れてきた……。

パリの小さなホテルを舞台に、そこに行き交う人々の出会いと別れ、喜びと悲しみを耽美的な映像で綴る新人女性監督の作品。

一度でもパリに旅行された方ならご存知だろうが、パリは星印が二つか三つの小ホテルが圧倒的に多い。そうしたホテルには豪華ホテルの宿泊客とは別種の人達が泊まっていたり住んでいたりして、独特の雰囲気をつくっている。大豪華ホテルを「虚栄の市」とすればこちらは飾りたてない裸の触れあい、といったところだろうか。旅の宿にこうした暖かいねぐらを希望する人はまた結構多いものだ。

映画は、その「二つ星ホテル、部屋数30」に依る人々を中心に展開する。かつての名作「グラン・ホテル」がしみじみそうだったように、誰が主役ということもない。ある老俳優を狂言廻しとしてストーリーは進展するが、宿のマダムやギャルソン、そこに定食を喰べにくる客に至るまで、全てが「主役」である。



はたして、登場人物全てにとって、パリは、あるいは大都会はどういう存在として映ったのだろうか。これが、この作品の最大の眼目である。

その監督、ヤナ・ボコーワは自らもまた20才の時、「ブラハの春」を逃れたパリへの亡命者であった。「人は生きるためにこの都会にやってくる」(リルケ「マルテの手記」)ということばどおりに、彼女も自由を求めてパリにやってきたわけである。そこで彼女はフランス語と写真を学ぶことになるが、その間の体験がこのドラマになったと語る。異邦人にとつてのパリは、ある時はやさしく、ある時はまた残酷極まりない貌をもって迫っただろう。ロンドンに移って、本格的に映画を学んでいたヤナ・ボコーワの胸にいつか、そうした「愛と哀しみのパリ物語」を映画化しようという意志が静かに芽生えていった。

赤を基調とした撮影はジュラル・ド・バチスタ。バンドネオンのみの音楽はロドルフォ・メデロス。プロデューサーはイギリスのサイモン・ペリー。「1984」を初めとする気鋭のプロデューサーである。

出演は老俳優に「哀しみのトリスターナ」のフェルナンド・レイ。映画監督志望青年に「満月の夜」のファブリス・ルシーニ。他に日本初登場の美人女優、ペランジュール・ボンヴォワザンなど。

ヤナ・ボコーワ監督はイギリスのBBC放送に

数多くのドキュメンタリー作品を発表、今回が長編劇映画の第一回作品となる。

パリ大好き人間はもちろん、これからパリへ出かける人にも絶対の映画。

(1987年度/イギリス・フランス合作/カラー/1時間57分)

物語

そのホテルにはこんな人たちが泊まっていた。ジョゼフ・ゴールドマン(フェルナンド・レイ)。ゆるやかに人生の終着駅に向いつつある初老の俳優。亡命したロシア系ユダヤ人という設定。国際俳優として名声を確立した彼も、最近あまりお呼びもかからず、淋しい思いをしていたが、パリのカフェ・テアトルで独り芝居をやらせるという話にのって、パリにやってくる。「パリはあなたを必要としないのにまた来てしまった」という妹、サラの言うようにパリはどう彼を迎えたか。

フレデリック(ペランジュール・ボンヴォワザン)。恋に疲れて、駆け込み寺よろしく、このホテルに逃げこんできたパリ女。

アルチュール(ファブリス・ルシーニ)。宿泊者ではないがしょっちゅう入る貧乏青年、他にはアメリカのヒッピー女、宿のマダム、ホモの男エトセラ、今日もパリは暮れていく。



'88年夏ロードショー

特別鑑賞券¥1200発売中(当日¥1500均一の処)

シネマスクエア
とうきゅう

新宿新舞伎町ミラノ座横3F

(232)9274

全自由席定員制 ● 入替制

(満席および上映中の入場はできません)

連	日	11:30	2:00	4:30	7:00
*毎金・土曜の夜はレイトショーPM9:20より					